



9 月号

令和元年 9 月 1 日発行
【発行者】〒168-8510
東京都杉並区高井戸西 1-12-1
社会福祉法人 浴風会
京極 高宣
TEL (代表) 03-3334-2101
http://www.yokufuukai.or.jp/
【編集者】露口 長
【印刷所】株式会社サイド・ビー



園児とご利用者のスイカ割り

健康長寿の話 （『アシタ』と『マゴワヤサイヨ』）

浴風会理事 河村 博江



この6月に新しく理事（非常勤）を拜命した河村です。どうぞよろしくお願い致します。

にストックをもって大股、足早で歩くノルディックウォーキングなどはその典型でしょう。

人は心筋梗塞などの死亡率が少なく、これが日本人の平均寿命が長い要因であり、糖尿病や認知症の予防効果もあるとのこと。また、海藻も

これまで福祉行政や病院事業などに長く携わってきましたが、前職の長寿社会開発センターでは、仕事柄、健康長寿についての心がけや秘訣、さらには食事に関するご高説をお聞きする機会が多くありました。今回はそのうちのいくつかの話題をご紹介します。

「シ」は「喋る（しゃべる）」です。一人で家に閉じこもって孤食と終日テレビを見て過ごすのではなく、外に出て趣味や社会活動で人と楽しく交流すべきであるということでしょう。

大豆や魚とともに日本の長寿を支えていることも分かったそうです。ただし、大豆と魚を採る人は塩分の摂取量も多く、高血圧、ひいては脳卒中になり易いので、健康寿命を延ばすためには、減塩、適塩で大豆や魚などの日本の伝統食を食べるのが良い、と結論付けています。ちなみに海藻に多く含まれるマグネシウムは塩分を打ち消す効果もあるそうです。

まずは、基本となる『アシタ』です。あるいはご存じの方が多いかも知れません。

「タ」は「食べる」です。バランスの良い食事をとることとはもちろんですが、とくに噛む力（咀嚼力）は、食欲を満たし、体力を保持し、老化を防止するうえで大切なことは自明です。口腔ケアが重視される所以でもあります。

日本の伝統的な食材の頭文字をとったのが「マゴワヤサイ」（豆、ゴマ、わかめ、野菜、魚、シイタケ、芋）ですが、

「ア」は「歩く」です。歩くことが健康に良いのは周知のことですが、国立長寿医療研究センターの先生方によると、「もう5センチ運動」と

健康と栄養の大家である家森幸男京大名誉教授の多年かつ国際的な調査研究によれば、大豆（豆腐、納豆など）と魚の両方を食べている日本

家森先生は、長寿食としては、これに西洋の長寿食であるヨーグルトを付け加えて「マゴワヤサイヨ」とすることを推奨されています。

というのがあって、ゆっくりトボトボと歩くより、少し大股でしかも少し足早に歩くのが身体にも脳にも適度に負荷がかかって良いそうです。両手

森幸男京大名誉教授の多年かつ国際的な調査研究によれば、大豆（豆腐、納豆など）と魚の両方を食べている日本

家森先生は、長寿食としては、これに西洋の長寿食であるヨーグルトを付け加えて「マゴワヤサイヨ」とすることを推奨されています。

平成 30 年度 決算報告

6 月 12 日に開催されました当会理事会及び 6 月 26 日開催の定時評議員会において、平成 30 年度決算が以下のように承認されました。

(1) 貸借対照表の要旨 (平成31年3月31日現在)

単位: 千円

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	2,293,628	流動負債	1,084,980
固定資産	11,851,319	固定負債	3,665,918
		負債の部合計	4,750,898
		基本金	506,033
		国庫補助金等特別積立金	5,474,954
		その他積立金	1,192,506
		次期繰越活動収支差額	2,220,556
		(当期活動収支差額)	(△170,760)
		純資産の部合計	9,394,049
資産の部合計	14,144,947	負債・純資産合計	14,144,947

(2) 総合資金収支計算書 (平成31年3月31日現在)

単位: 千円

区分	収 入 額	支 出 額	収支差額
社 会 福 祉 事 業			
養護 浴風園	468,213	467,808	405
軽費 松風園	346,717	346,073	644
軽費 ケアハウス	181,103	180,557	546
老人福祉事業計 (a)	996,033	994,438	1,595
特養 南陽園	1,140,115	1,138,456	1,659
特養 第二南陽園	698,549	698,450	99
特養 第三南陽園	1,070,691	1,070,254	437
南陽園在宅サービスセンター	43,797	42,934	863
第二南陽園在宅サービスセンター	80,343	89,105	△ 8,762
グループホームひまわり	106,163	103,522	2,641
ヘルパーステーション	61,919	60,629	1,290
介護保険事業計 (b)	3,201,577	3,203,350	△ 1,773
浴風会病院	2,976,019	3,060,196	△ 84,177
老健くぬぎ	584,007	584,837	△ 830
認知症介護研究研修センター	367,840	367,712	128
本部経常部	175,848	162,268	13,580
社会福祉事業合計 (c)	8,301,324	8,372,801	△ 71,477
公 益 事 業			
地域包括支援センター	49,981	49,881	100
居宅介護支援事業所	29,899	29,703	196
よくふう保育園	38,151	37,017	1,134
ケアスクール	13,732	13,425	307
公益事業合計 (d)	131,763	130,026	1,737
収益事業 (e)	16,617	15,177	1,440
総 計 (c+d+e)	8,449,704	8,518,004	△ 68,300

平成 30 年度浴風会事業報告概要

(下)

本部事務局次長 浅井 敏男

第 4 各事業部門の取組み

1 法人機能の充実

経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性の向上、地域公益事業の積極的な展開等に取り組んだ。

また、「内部管理体制の基本方針」に則った経営戦略等に関する合議体である経営企画会議や内部監査を担当する監査室も、所期の目的の達成に努めた。さらに、社会福祉法人制度改革の主旨に沿った対応を行う他、完全週休2日制に関する検討、ハラスメント対策の再構築、働き方改革への対応等昨今の社会経済情勢に対応した取り組みを推進した。

(1) 法人組織の活性化による業績の向上

これまでの4部門(総務部、財務部、企画開発本部、事業本部)から6部門(人材確保対策推進本部、地域公益活動推進本部を新設)に衣替えし、法人全体を俯瞰した調整機能の発揮、企画立案機能や広報機能の強化に取り組んだ。

(2) 経営企画会議等による諸課題の検討及び対処方針の決定

経営企画会議、幹部連絡会議、部長連絡会議等の諸会議を通じて、経営方針等に関する意思疎通を図った。

また、事業本部(保健衛生業務調整、栄養業務調整、相談業務調整、リハビリテーション業務調整)の取組みによ

り、職種別に当該業務に関する連絡調整を図り、業務の円滑化、リスク管理に努めるなどとして、現場第一線の業務向上に努めた。

(3) 情報公開の推進

法人情報の開示
福祉医療機構の「財務諸表等電子開示システム」によって、法人の運営・財務状況に係る情報を開示した。

見学者・視察者、ボランティア等の積極的受入れ

見学者・視察者(282名)は、国や自治体、福祉関係団体、研究機関・学校等と、多岐に亘る機関等から受入れ、また海外(うち129名)からの

受入れも多く行った。

ボランティアは、延べ1万人を超える皆様から支援を得た。

ウ 広報推進会議の運営

法人としての一体化した広報計画の下に、歴史や理念、実施事業の現状や方向性等を迅速、適切に発信して、法人の透明性を高めるとともに、会内外関係者の法人に対する理解、信頼及び支援の取組みが進められた。

2 高齢者保健医療総合センター事業

1) 浴風会病院事業
入院、外来にそれぞれ目標患者数を定め、コスト意識をもって各部門がそれなりに努力をしたが、地域包括病棟の包括単価の減少等によって、収支上は厳しい結果となった。

認知症疾患医療センターの運営では、杉並区の認知症施策や福祉医療の実際などを学べる場として、当センターが企画する「認知症ネットワーク」を年2回開催した。

2) 老健施設及び通所リハビリテーション事業
充実したりハビリテーション体制を

基に、短期集中リハビリテーションの強化、入所・短期入所・通所の相互の連携に取り組む、在宅生活への総合的な支援体制強化に努めた。

3 老人福祉事業

養護老人ホーム等においては、虚弱化に伴う入浴・配食・排泄などの身体介助の増加、認知症の進行や精神疾患に伴う見守り、金銭管理や服薬管理、利用者間トラブルの調整など、利用者の多様化とも相まって多岐に亘っている。

このような状況を踏まえ、介護保険の活用等も併せ、職員の業務の負担軽減も図りながら、基本理念の一つであ

浴風会研修を終えて

聖明福祉協会

盲養護老人ホーム聖明園曙荘

副園長 本間 律子



今年の3月から6月までの長期にわたり、歴史ある浴風会の法人本部にて研修を受けさせて頂きました。京極理事長様はじめ多数の皆様は、言葉では言い尽くせぬほどのご厚情を賜りました。誠に有難うございました。

研修内容としては、理事会、監事監査、会計監査、経営企画会議、部長連絡会議、ファシリテータ会議など、法人本部が主催する主立った会議に出席させて頂きました。また新任職員研修をはじめとする一連の研修の一部にも参加させて頂き、その後の研修プログラムにも参加するようお誘いを頂きました。

今回の研修では組織ガバナンスや人間関係の洞察がテーマでございました。このうち組織ガバナンスにつきましては、「法令遵守推進規程」に興味を抱きました。内容として私が理解したところでは、管理職の率先垂範および管理監督が大事、見て見ぬふりはいけない、正当な通報者は守られる、虚偽の通報者は罰せられるというようなものでした。また注目すべきは、法令等の範囲を内部規定にまで拡大していること、守るべきものを倫理や社会規範にまで広げていること、対象者を利用者の家族やボランティアにまで広げていることで、抽象的ながら組織として規律や規範を重んじる姿勢を示し

ているところです。一見、法令や内部規定を守ることが当たり前のようにですが、一度失われた信頼や名誉を回復するのは容易ではありません。人々が従来よりも道徳的でなくなつたわけではありませんが、一部の不道徳・不心得な人の言動の悪影響が、ネットの力でまたたくまに広がるという昨今にあつては、組織や職員を守るためにも同規程は必要なものだと思いました。

また人間関係につきましても、若い頃に読んだ「長い箸の説話」がずっと気になっており、今回の研修で改めてそれを思い出しました。その説話は次のようなものです。

ある人が地獄を覗いてみた。そこでは1mもあるうかという長い箸を使い、人々が大きな鍋を囲んで食事しようとしていた。しかし箸が長すぎてなかなか具を挟めない。やっとの思いで挟んで具を持ち上げようとしたら、他の人がそれを横取りしようとする。邪魔をかくぐつて自分の口に入れようとしても、箸が長すぎて口に入らない。次に極楽を覗いてみた。そこでも人々は同じように長い箸を使って食事をしていた。見るとそこでは、ある人が長い箸で具をつかむと向かいの人の口に入れてあげている。そうすると向かい

の人はお礼にと自分の口にも入れてくれる。そのようにして極楽では和気あいあいと食事が進んでいた。

最近の研究で、心理的安全性と構成員の責任感を両立させている組織は、生産性が高いことがわかったとのこと。すなわち、自分の言動が他者に与える影響を強く意識することなく、感じたままの想いを素直に伝えることのできる環境や雰囲気があり、しかも構成員一人一人の責任感が強い組織は、生産性が高いといえます。逆に、上の顔色が気になったり、人の足を引っ張ったり、揚げ足取りをしたりするような組織では、人々は口をつぐみ、必要なことまで言わなくなるといいます。ここには先の「長い箸の説話」に通じるものがあるのではないのでしょうか。

浴風会でもかつては波風が立った時期があつたようですが、今ではそれを克服され、管理職が部下を気遣い、何でも言い合える組織風土作りをされているようにお見受けいたしました。組織にしろ経営にしろ、その善し悪しを左右するのは結局のところ「人」です。浴風会のような良い雰囲気を作りたい法人にも持ち帰り、組織作りにも貢献できればと思っております。この度は貴重な経験をさせて頂き、誠に有難うございました。

る「利用者中心のサービスの提供」を共通認識として、全職員が一丸となつて利用者の人格と個性を尊重し、多職種協働で支援の充実に努めた。

4 介護保険事業

介護報酬のプラス改定の下、事業計画に沿って事業を推進し、利用者のサービス向上及び目標達成に努めた。介護老人福祉施設においては、利用者の入院等により目標利用率に及ばなかつたが、杉並区、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所との連携により、空床利用の緊急ショートステイを積極的に受け入れた。

身体拘束廃止に向けて、悉皆研修を実施し、職員の意識向上を図る他、看取り介護について4回にわたる研修会を開催した。

5 地域サービス事業

在宅の高齢者が住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるよう、支える人、支えられる人への相談事業やサービス提供事業の連携を強化し、地域包括ケアシステムの構築を目標にして、在宅の高齢者支援に取り組んだ。

6 認知症介護研究・研修東京センター事業

認知症介護研究・研修センター全国運営協議会（大府センターで開催）、同センター合同研究成果報告会（仙台センターで開催）に参加して各センターの運営に巡る諸問題について検討するとともに、研究成果の報告を行った。

国の認知症政策の推進並びに認知症ケアにおいて急務となっている課題の解決やその基盤整備に向けて研究を実施するとともに、認知症介護指導者等の研修事業、認知症介護情報ネットワークの運用等による広報・普及・啓発事業を推進した。

浴風会の動き (8月)



【本部事務局】

23日 「評議員選任・解任委員会」開催。
 27日 杉並福祉事務所ソーシャルワーク実習学生7名見学。
 厚生労働省介護保険計画課等新任職員9名見学。(浅井)

評議員 (9月1日付)

就任 古都 賢一氏

(全国社会福祉協議会 副会長)

幹部人事 (9月1日付)

○高齢者保健医療総合センター

センター長 京極 高宣(理事長)

○浴風会病院

名誉病院長 吉田 亮一氏

(前高齢者保健医療総合センター長)

浴風会ケアスクール

Cafeオレンジリボンウッド

1日 介護福祉士実務者研修10期生11期生スクーリング毎週木曜日。受講生22名。講師・瀧浪美也子氏。

6日 介護職員初任者研修13期生スクーリング毎週火曜日。受講生15名。講師・大津陽子氏、橋村あゆみ氏、百瀬

服部、鈴木。

7・28日 外国人向け介護職員初任者研修「介護のための日本語(補講)」。受講生2名。講師・にほんごの会。

9日 特別区職員互助組合介護講座「穏やかな生活を送るための介護のいろ・は」準備編。講師・國安眞理氏、杉谷範子氏、服部。参加者44名。

21日 豊島区受託講座「ケアマネージャーにおける倫理原則を法律の視点から学ぶ」講師・高村浩氏、参加者46名。23日 cafeオレンジリボンウッド

開店。来店者40名。10月は25日(金)11時30分～15時 本館1階第三会議室にて開店いたします。パン、焼き菓子、コーヒーの他素敵な小物の販売と、折り紙など一緒に楽しめる手作りコーナーもあります。みなさまのご来店をお待ちしております。

30日 杉並区受託講座「相談援助の理論と実際」受講生90名。講師・渡部律子氏。(鈴木)

【老人福祉事業】

浴風園 (養護老人ホーム)

7日 「納涼祭」を開催。昼食には焼きそば、たこ焼き、から揚げ、枝豆、フランクフルトなどのお祭りメニューをご用意し、食堂で職員によるアトラクションもお楽しみいただきました。



午後は職員やボランティアさんによる縁日を行い、射的、ヨーヨー釣り、輪投げ、ゼリーつかみ、アイススクリームの模擬店を開きました。

ご利用者の皆様も笑顔でご参加下さいました。中でも射的では、ひときわ大きな歓声があがり、皆様熱狂されました。夕食後の夜7時より花火大会を行い、打ち上げ花火が夏の夜空を華やかに彩りました。ご家族も一緒に見学され、浴風園前の広場は大歓声に包まれました。

松風園 (軽費老人ホーム)

6日 「納涼大会」を昼食時に食堂にて開催。中庭では焼き鳥やじゃがバター、生ビール等の模擬店が開店、食堂内では的当てゲームのほか高井戸こだま会の皆様や和太鼓クラブによる太鼓の演奏が披露され、最後は例年どおり盆踊りで気分を盛り上げて下さいました。職員の浴衣姿も好評で、ご利用者の皆様、職員が一体となり夏祭りを楽しみました。(宮中)



浴風会ケアハウス

7月31日 カフェケアハウスで、大学の先生方との交流がありました。未来の暮らし方の参考にするため、「戦前から戦後の生活(食事・近所との関わり等)」について、お話を交わされました。

9日 「デザートバイキング」を開催。ご飯を少なくしてデザートに備えたとのお話もお聞きしました。(尾滝)

【介護保険事業】

南陽園 (特別養護老人ホーム)

2日 台風の影響で延期となっていた「花火大会」を、第三南陽園・グループホームひまわり・老健くぬぎと合同で行いました。ご利用者の他、ご家族やご近所の方もたくさん参加され、次々と上がる花火を楽しみました。

3、4日 富士見ヶ丘商店街の「七夕祭り」に参加。ご利用者の皆様と一緒に出かけ、屋台の料理やサンバの踊りを楽しみました。(丸山)

南陽園在宅サービスセンター (認知症対応型通所介護)

毎日の始まりとして、お客様にその当日に因んだ物や事柄に絡めて自己紹介をしていただいています。「下駄の日に因んで、普段履いている履物を教えてください」「温度計の日に因んで、好きな季節を教えてください」等々。猛暑が続くなか「涼しくなったらどこへ行きたいですか」と伺うと、「涼しいところ」「山・川」の他に「暖かいところ(ハワイ)」など個性溢れる自己紹介タイムとなりました。(鶴間) ★各事業のお問い合わせは随時行っておりますので、お気軽にご連絡下さい。(鶴間・工藤)

◎電話 03-3334-2743

第二南陽園 (特別養護老人ホーム)

3、4日 富士見ヶ丘商店街のお祭りに外出しました。

19日 各フロアで「納涼祭」を開催。ヨーヨーや射的の



模擬店やスイカ割り等、楽しいひと時を過ごしました。

21日 クッキング★カフェでは、ヨーグルトベース・牛乳ベースなどご自分で好きな味を選び、アイスクリームを作りました。(山崎)

第二南陽園在宅サービスセンター

(通所介護、介護予防通所介護)

2日 高井戸こたま会の方々にお越し頂き、和太鼓演奏と盆踊りで大いに盛り上がりました。

7日 納涼週間の行事としてスイカ割り大会を開催しました。

19日 ハワイアンバンドの演奏会です。南国の夏を感じさせる音楽のひとつになりました。(隈本)

★ご見学のお申し込みやデイサービスへのお問い合わせは随時受け付けています。

◎03-3334-2140

第三南陽園

(特別養護老人ホーム)



2日 毎年恒例の「花火大会」を開催。今年は南陽園、グループホームひまわりに加えて老健くぬぎも参加し盛大な花火大会となりました。1つ1つ打ちあがる花火の見どころを紹介させていただいた後、すぐに花火が打ちあがります。「うわー、きれいなね。たまーやー!」とご利用者の方々から楽しまれている声がきかれました。

7日 毎年阿佐ヶ谷で行われる七夕祭りに出かけました。ご



利用者の方が作成した「天の川を遡上する鮭VS熊」のはりぼてが展示されており、その迫力に圧倒されました。今は第三南陽園の入り口に飾ってあります。(佐々木)

グループホームひまわり

2日 「合同花火大会」開催。打ち上がった花火をみて「すごいわ。きれいなね」と笑顔で話され、多くの方が楽しめました。

5、6日 阿佐ヶ谷七夕祭りへ出かけました。「前にかけたことがあるわね。懐かしい。」と話され大きな七夕飾りや張りぼてを見て大変喜ばれていました。



16日 「スイカ割り大会」開催。よくふう保育園の園児を招待して、「よいしよ!」のかけ声でスイカを割り、園児の頑張っている姿をみて終始笑顔のご利用者の皆様。最後によく冷えたすいかと一緒に食べて楽しい大会を終了しました。(表紙写真)(谷口)

【地域サービス事業】

地域包括支援センターケア24高井戸

7月29日 『人生100年時代の親子』というテーマで、家族介護教室を開催。これまで誰も経験したことのない長い人生、変化した親子の関係を見つめ直し、新しい暮らし方を参加者の皆さんと一緒に考える機会になりました。

た。それぞれの家族に歴史があり、皆同じではないが、大切なのは、家族の中でお互いに話をしておくことが重要だと皆さんと共有しました。

後半は、医療について学ぶ場を予定しています。また区報でご案内しますので、是非、ご参加下さい。(尾関)

杉並区地域包括支援センター

ケア24高井戸

◎電話 03-3334-2495

【病院事業】

浴風会病院



杉並区の方の後期区民健診が始まりました。10月から3月に誕生日を迎える方のお申し込みをお待ちしております。また、前期区民健診は10月末までとなります。9月までの誕生日の方は、お早めにご予約ください。

また、健診センターでは、追加健診としてお受けいただける左記の健診コースがございます。

「胃がんリスク検診」「骨密度検診」「動脈硬化検診」「肺がん検診」

受診をご希望の方、詳しいご説明が必要な方は担当までお問合せ下さい。お電話でのご予約は、月曜～金曜(祝日を除く)午前9時から午後5時までです。健診担当 立川 (中澤)

予約電話 浴風会病院(代表)

◎03-3332-6511

老健くぬぎ(介護老人保健施設)

2日 南陽園、第三南陽園と合同で「花火大会」を開催。3つの施設の中間にある広場で、19時から約30分間に様々な花火を楽しんでいただきました。入所者の皆様も夏の風物詩である花火を間近に見ることができて、とても喜ん

でおられました。

20、22日 デイケアでは3日間による「夏祭り」を開催!射的や金魚すくいを楽しまれたり、また職員が所属している太鼓グループの皆さんがボランティアとなって演奏していただきました。

28日 2階フロアにおいて「納涼祭」を開催。かき氷やたこ焼きを召し上がってほしい、午後からはデイケアでも協力いただいた太鼓グループによる演奏を楽しみました。(森屋)

★入所・デイケア・ショートステイご利用のご相談はお気軽にご連絡ください。

◎03-5336-7701(代表)

◎03-5336-7734(入所)

◎03-5336-7704(デイケア)

【研究・研修他】



1、2日 認知症地域支援推進員研修(新任者) 名古屋 294名受講

2日 第1回認知症介護指導者研修修了式 8名修了

9日 厚生労働省老健局総務課認知症施策推進室 岡野新室長視察

19日 第2回認知症介護指導者研修開講式 18名受講

20、21日 認知症地域支援推進員研修(新任者) 福岡 234名受講

22、23日 認知症地域支援推進員研修(現任者) 福岡 107名受講

26日 老健事業WG ステーションコンファレンス東京

◆8/18読売新聞朝刊に長谷川和夫名誉センター長の記事が載りました。編集委員室のツイッターから動画が見られます。

https://twitter.com/y_seniorwriters/status/1162859737886539776

(富島)



つなげたい浴風会の今⑦

在宅サービスセンター

「交流と趣味活動で
生活をより良いものに」
生活相談員 隈本 真司



第二南陽園在宅サービスセンターでは、要介護・要支援の認定がある方を対象としたデイサービス事業を行っています。デイサービスは日帰り型のサービスです。朝に自宅まで送迎車でお迎えに上がり、夕方にご自宅にお送りするまでの7時間の間に、機能訓練体操や手工芸等の趣味活動、お食事などのサービスを提供しています。また、希望される方には入浴サービスも行っています。レクリエーションでは、地域のボランティアさんのお力をお借りして、様々なジャンルの音楽演奏やフラワーアレンジメント、陶芸教室などのプログラムを開催しております。ご好評を頂いています。



デイサービスの目的のひとつとして、ご家族への支援も大切にしているポイントです。例えば「急に冠婚葬祭が入った」「どうしてもこの日は仕事で・・・」などのご相談を頂くことがあります。このような時は可能な限り、予定外での利用をお受けするようにしています。また、必要に応じてショートステイや他施設の担当者ともスムーズに連携し、包括的なサービスをご提案できるところは浴風会ならではの強みだと思います。

そして何よりも当デイサービスの良いところは、交流と生きがいがたくさん生まれる点にあると考えています。お年を召してお身体が少しでも不自由になるとご自宅にこもりがちの生活になり、生活が単調なものになってしまいがちです。その結果、体力の低下や要介護度が上がるなどの悪影響が出てくることもあります。そこで、当デイサービスの出番です。次第に通い慣れたり、好きな趣味活動ができて夢中になったりと、その方なりの楽しみが見えてくるようになります。昔からのご友人と数十年ぶりに再会されたという方もおられます。気がついたらデイサービスに行くのがとても楽しくて、もっと行きたい、回数を増やしたいと嬉しいご相談を頂くこともあります。



お客様一人ひとりの在宅生活が少しでも良いものになるよう、ケアマネジャーさんや他のサービスとの連携を図り、より魅力的なサービスが提供できるよう職員一同、日々研鑽を積んでいます。



たり、好きな趣味活動ができて夢中になったりと、その方なりの楽しみが見えてくるようになります。昔からのご友人と数十年ぶりに再会されたという方もおられます。気がついたらデイサービスに行くのがとても楽しくて、もっと行きたい、回数を増やしたいと嬉しいご相談を頂くこともあります。



施設概要
第二南陽園在宅サービスセンター

類型：通所介護、
介護予防通所介護

設立：昭和 62 年 2 月
定員：1 日あたり 40 名
営業日：月曜日～土曜日
日曜日と年末年始は休業

対象：要支援または要介護の認定を受けた方。日中の活動や社会参加を支援するサービスです。

「第8回浴風会つながるフェスタ」を、
10月19日(土)に開催いたします。
どうぞご期待ください。

編集後記

「研修を終えて」をご寄稿いただいた本間律子さんを紹介いたします。昨年5月号巻頭言にご寄稿いただいた社会福祉法人聖明福祉協会会長本間昭雄先生のご養子です。律子さんのご令嬢が医科系大学で学んでいて、本間会長が失明のため果たせなかった、12代続く医者の後継者ができたこと、会長は大変喜んでおられます。律子さんご自身は、社会福祉士の資格を持ち、人間福祉研究で博士号を取られており、また、日本盲人福祉の先覚者である岩橋武夫氏の業績を中心に「盲人の職業的自立への歩み」(関西学院大学出版会)を著しています。現在は盲養護老人ホーム聖明園(青梅市)に勤めておられます。これからの益々のご活躍を期待しております。(C)

ご芳志

令和元年7月16日から8月15日
ご芳情をいただきました。
ありがとうございました。
〈金品・物品〉
宮沢 郁子様

【ご意見をお寄せください】

〒168-8510※住所なしで届きます
機関紙「浴風会」編集部係
soumu2@yokufukukai.or.jp
http://www.yokufukukai.or.jp/

